

教務厚生常任委員会所管事務調査報告書

1. 調査年月日

令和6年7月9日（火） 12時から15時20分

2. 所管事務調査項目

- (1) 藤岡市学校給食センターについて【教育委員会 給食センター】
- (2) 複合施設整備事業 図書館について【健やか未来部 図書館】

3. 調査選定理由

- (1) 藤岡市学校給食センターについて

令和6年4月より藤岡市学校給食費が完全無償化されました。学校給食センターの運営状況を確認するとともに、昨今の材料費・光熱費高騰に対してどのような対策を講じているか、地産地消の取り組み状況、児童生徒が満足する給食を提供しているのかを現地調査します。

- (2) 複合施設整備事業 図書館について

複合施設建設工事の進捗状況を確認し、利便性の良い施設が建設されているか確認し、複合施設内に移動する図書館が市民にとってより良い図書館となるのか調査を行います。

4. 調査内容

- (1) 藤岡市学校給食センターについて

①概要について

現在の学校給食センターは、平成29年8月に開設された建物であり、令和2年4月より給食調理業務を民間事業者に委託。同年9月より卵・乳を起因とする食物アレルギーの対応食を提供開始。令和4年4月より学校給食費管理システムを導入し、給食費を給食センターで一元管理を開始。エビ・カニを起因とする食物アレルギーの対応食を提供開始。令和5年4月より藤岡市第2子以降学校給食費無償化等事業を実施。令和6年4月より学校給食費完全無償化が実施となる。

施設所在地	藤岡市神田1552番地1
敷地面積	8791㎡
建物延床面積	3775.48㎡
厨房方式	完全ドライシステム

調理能力 7, 0 0 0 食／日
 配送校 市内小中学校 16 校、県立藤岡特別支援学校
 職員数 9 人（事務職員 5 人、栄養士 4 人）
 調理業務 4 1 人（委託業者）

②給食の状況

（１）年間給食回数（令和 6 年度）

小学校 1 9 5 回 中学校 1 9 6 回

（２）給食数（令和 6 年 5 月 1 日）

小学校	児童数	2, 4 6 4
	教職員数	2 7 5
中学校	生徒数	1, 5 0 3
	教職員数	1 6 8
センター職員数 委託含		4 7
県立藤岡特別支援学校	児童生徒数	7 6
	教職員数	5 5
合計		4, 5 8 8

（３）給食費

小学校 年額 5 2, 6 5 0 円（令和 5 年度 4 4, 1 2 1 円）

中学校 年額 6 0, 7 6 0 円（令和 5 年度 5 3, 1 7 4 円）

1 食当たりの単価	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
小学校	2 7 0 円	2 2 3 円	2 2 6 円
中学校	3 1 0 円	2 6 9 円	2 7 2 円



※所管調査当日の給食



※所管調査の様子

藤岡北高等学校で栽培されたトマトや県産食材を使用したスープやコッペパンにソ

ーセージやパスタなど、品数も多く味付けもとても良いです。また、企業からこんにゃくゼリーも提供されており、子育て支援の一環として連携しているとの報告もありました。

③所感

初めに学校給食センターにて実際の給食を試食をさせていただき、学校給食センターの概要や業務状況、調理員の働き方やアレルギーの対応、食材の選定方法や企業・高校との連携、献立の立て方などの説明を受けました。

学校給食は、児童及び生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものです。食に関する指導計画では、知識、食事の重要性や栄養バランス、食文化等についての理解を図り、健康で健全な食生活に関する知識や技能をつけるようにすること、二つ目に思考力、表現力、食生活について正しい知識情報に基づき自ら管理したり判断できたりすること、三つ目に主体的に自他の健康な食生活を実現しようとし、食や文化、食料の生産等に関わる人に対して感謝する心を育む食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を養うことということが掲げられており、これらを意識しながら献立作成や保護者との連携、地域連携が図られていることがわかりました。

また、材料費・光熱費の高騰が給食センターの運営に影響を与えていることを実感しました。材料費・光熱費が高騰している中でも、児童生徒の栄養バランスに配慮したおいしい給食を提供している給食センター職員の努力を見ることができました。メニューも豊富ですが給食に足りていない食材を家庭に知らせ、子たちが健やかに成長することを願い細やかな配慮を実施していることも確認ができました。今後も地場産の食材をできる限り用いて、栄養バランスの取れたおいしい給食を児童生徒に提供してくれることを心より願います。

(2) 複合施設整備事業 図書館について

①概要について

令和2年2月に「旧公立藤岡総合病院跡地活用基本構想」が策定され、令和3年5月には「旧公立藤岡総合病院跡地複合施設整備基本計画」が策定となったことから旧病院解体工事が完了し、令和5年9月より建設工事が始まり令和7年秋の供用開始に向け計画が進んでいます。

この複合施設の基本コンセプトは、「はぐくむとかなでるがまじわる、すべての藤岡市民のみらいのために。」となっており、設計では、「機能を融合し、人をつなぐ」をコンセプトとして、図書館、保健センター、多目的ホールを一つの施設として整備する

ことで、利便性の向上を目的としており、また、様々な市民活動が行われることによって、子どもからお年寄りまでの多世代交流や、にぎわいの創出につながる施設を目指しています。

複合施設には、図書館と多目的ホール、保健センター、プレイルーム、防災備蓄倉庫を設け、芝生広場やロータリー、バス停、西側に利用者駐車場を整備し、メイン入り口近くには、民間事業者運営のカフェの出展を予定しています。また、貸会議室とスタジオを設け、サークル活動、楽器やダンスの練習などの市民活動のための貸し出しを想定しています。

保健センターでは、健康づくり課と子ども課が配置され子育て支援に関する情報や相談、健康診断、医療相談などを行うためにプライバシーに配慮した個別相談室を整備し、健診内容に応じて自由にレイアウトでき、より細やかな対応を可能とする健診ルームの他、託児ルームと相談・預かり室、産後ケアルームを新たに設置します。

図書館では本の貸し出しを中心に行う従来型の図書館ではなく、利用者の目的にあわせて、充実した時間を過ごしてもらえる滞在型の図書館を目指し、読書や学習することができる閲覧席はもちろんのこと、中高生などが友達同士で会話やグループ活動を行うことのできる少しにぎやかなエリアと静かに集中して読書ができ、ウェブ会議にも対応した個室なども整備します。また、読み聞かせスペースや絵本、児童書などをそろえた児童コーナーと交流プレイルームを設け、小さな子どもが、雨や猛暑の日など、天候にかかわらず、体を動かして遊ぶことができるエリアを設置します。カフェの運営については、株式会社ミツウロコグループホールディングスを候補者として選定しておりまして、現在出店に向けた調整を進めています。

多目的ホールは、展示に適した施設にしてほしいという文化協会からの要望もありましたので、絵画や書道などに当てる照明や天井の高さを抑えるなど、ギャラリー機能を備えたホールとなっています。移動間仕切りを使用して部屋を分割して使うこともできますので、展示会や講演会発表会などの参加人数や規模に合わせて適切な配置や区切りを行うことで、様々な形式のイベントに対応することができます。また、複合施設内には保険センターや非常用電源、防災蓄倉庫も備えていることから、災害時には乳幼児や妊産婦など避難生活において特別な配慮を必要とする方のための福祉避難所として利用する計画となっています。



『はぐくむとかなでるがまじわる～すべての藤岡市民の未来のために～』

・複数の機能(図書館・保健センター・多目的ホール)を一つの施設として整備することで、多様な都市機能が「融合」し、利便性が向上する。また、複合施設として整備することで多様な市民活動を行うことができる施設となり、子どもからお年寄りまで、多世代交流の活性化や賑わいの創出に寄与し、まちとつながり、連携する施設づくりを行う。



整備内容	複合施設（図書館、多目的ホール、保健センター、プレイルーム 防災備蓄倉庫など）、緑地広場、バス乗降所、駐車場など
敷地	群馬県藤岡市藤岡 942-1 他
用途地域	第一種中高層住居専用地域、第二種住居地域
施設構造	鉄骨造 1 階建て
床面積	約 5,430 m ²
駐車場整備台数	361 台（うち利用者用 282 台、公用車用等 79 台）

The diagram shows a timeline from Heisei 25 (令和 5 年度) to Heisei 27 (令和 7 年度). Key events include:

- 建設工事 (Construction Work):** Starts in Heisei 25 and continues through Heisei 26.
- 外構・駐車場工事 (Exterior/Parking Lot Work):** Starts in Heisei 26 and continues through Heisei 27.
- 周辺道路整備 (Surrounding Road Improvement):** Starts in Heisei 25 and continues through Heisei 27.
- 備品購入 (Purchase of Supplies):** Starts in Heisei 27 and continues through Heisei 27.
- 現図書館 (令和 7 年 6 月末まで) (Current Library (until the end of June, Heisei 27)):** Indicated by a horizontal line from Heisei 25 to Heisei 27.
- 引越 (Relocation):** Occurs in Heisei 27.
- 供用開始 (Start of Use):** Occurs in Heisei 27.

《建設工事の状況》

- ・進捗率：30%（6月30日現在、計画では41%）
- ・工期：令和5年9月1日 ～ ~~令和6年12月13日~~
令和7年 3月31日

【工事の遅延について】

工事の遅延理由の説明が下記の通りありました。

7月までに建物の基礎工事が進み、現在は鉄骨の組み立てや溶接などの建て方工事を進めています。工事の進捗状況としましては、令和6年6月30日現在の進捗率になりますが、当初計画では41%のところ30%という状況になっております。今年度に入って工事の遅れが大きくなってきておりましたので、工事管理の佐藤総合計画と工事の受注業者で協議を行った結果、工期内の工事完了は難しいという判断をいたしました。工期としましては、令和5年9月1日から令和6年12月13日までを予定しておりましたが、令和7年3月31日まで工期を延長したいとのこと。

②委員より質問・意見等

・工期の遅れについて

建築資材の高騰、納期の遅れ、働き方改革に伴う課題など、契約以前から想定がついていた問題であり、突発的な問題で遅延し契約が変更になることは市民の理解が得られない問題であるとの意見がでました。

・託児ルームについて

登録制だと急用で対応してほしい時に預けられない。カフェの利用時など1時間から2時間の利用を考えたい人も考えられる。公共性の観点から登録していない状況でも、短時間の預かりや、やむを得ない状況なら受け入れるなど、行政ならではの柔軟な対応を検討してほしい。

・図書館運営について

図書が館内のどこでも読めるという事ですが、本の紛失など管理が行き届かないことも想定されます。ICゲートでの管理とのことですが、利用人数の把握などよく検討して運用にあたっていただきたい。

・自動販売機について

カフェがあるが、夜間等にも館内の利用者がいることが想定されるため、自動販売機を設置する必要がある。その際には、社会貢献型自動販売機を設置し、売り上げの一部が図書購入費用などに充てられるように検討してほしい。

以上のとおり、報告いたします。

令和6年8月6日

教務厚生常任委員会

委員長 青 木 貴 俊

副委員長 阿 野 剛 士

委 員 大久保 協 城

湯 井 廣 志

吉 田 達 哉